

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年九月度 入選句（投稿総数二千二百六十一句・一般投句数六百四十一句）

特選

旅先の一期一会の盆踊

大垣市

傍島 豊子

袖摺り合わすも多少の縁とか申します。旅先でたまたま前と後で踊ったことで親しくなりました。お互い氏素姓話すこともなく一夜の出会いでしたが妙に心に残る人でした。もう再び会うことのないであろう人なのに千古の知己の思い離れずの不思議な出会いでありました。

虫干や初月給の明細書

大垣市

傍島 隆

どうしてこんなものがこんなところからという思いです。すっかり色褪せたそれは昨日のこのようにそのときのことを思い起させました。
今と比べれば貨幣価値全然違つて現実性はないですが、これですいぶん嬉しかった楽しかったわけで隔世の感を禁じ得ません。

ふる里の小さくなりし踊の輪

大垣市

日比野 友子

少子高令化の波は容赦なくふるさとも及んでいることを実感です。
幼いころを、青春時代を振り返るときとても淋しく感じる光景でした。ただ今の子どもたちは衣食足りて幸せそうではありましたが私たちの時のような素朴さがなくように感じましたがこれも時代のなせる技なのでしょうか。

秀逸

炎天の川辺に寄りて風貰ふ

大垣市

栗山 佳子

老いし犬舌で息する残暑かな

大垣市

平野 きぬよ

虫籠を電車に乗せて孫帰る

京都府宇治市

古根 洋子

もう鳴かぬ鈴虫返す草叢へ

大垣市

多和田 一徳

墨を磨るにほひかすかに涼新た

大垣市

野村 多佳子

流灯のゆきつもどりつ風にのり

大垣市

安田 直隆

イベントの長き挨拶秋暑し

大垣市

新町 恵子

口数の減りきし母や桃をむく

大垣市

山田 千歌子

なほ残る暑さ日暮のアスファルト

大垣市

棚橋 みさを

庭花火匂い残して闇戻る

三重県四日市市

後藤 允孝

入選

夕端居父の真似して瓜を切る
女郎花やや控へめに男郎花
供え菓子両手に地の子地藏盆
隣家とのすき間より見る花火かな
天空を四方に引き裂く花火かな
父生きた齡越しけり墓洗ふ
早々に門灯ともし魂迎
風呂上がり水着の跡の白さかな
格別のことなき暮らし花茗荷
蝸に耳敬てし夕御飯

静岡県浜松市 杉浦 恵
岐阜市 堀江 美州
不破郡垂井町 西垣 和志
大垣市 谷 睦月
大垣市 澤井 国造
大垣市 早崎 美弥子
養老郡養老町 田中 紫香
大垣市 小林 恵子
大垣市 鶴田 信子
愛知県額田郡 平松 京師

入選

今日一日素直に生きて大根まく
水打ちて今日の介護のはじまりぬ
青畳匂ふ座敷や涼新た
夕闇に浮かぶ蠟燭地藏盆
秋茜田に夕影を映しつつ
水の秋水底ゆらす鯉太る
引く波の足裏くすぐる秋の砂
人去りて一人の水辺秋螢
新幹線ひまわり畑駆け抜ける
廃屋に残る門札虫の秋

大垣市 今津 絹代
東京都世田谷区 関戸 信治
安人郡神戸町 高橋 日出美
不破郡垂井町 久保田 紘義
大垣市 尾関 逸子
大垣市 野村 多佳子
大垣市 田中 雅子
養老郡養老町 田中 紫香
滋賀県彦根市 小泉 花奈絵
神奈川県横浜市 龍野 ひろし

選者吟

颯雲空ごと海へなだれけり

青 志